

男性の産休・育休を推進!



直近の県庁の男性職員の産休・育休取得率は27.6%(目標値は50%)。対して、千葉市は99.1%と**極めて高い水準**です。これも熊谷知事が千葉市長時代に、男性職員の産休・育休取得を強力に推進したためで、**全国一の水準**です。県庁でも同様に推進すべきと、質問しました。

田沼(7月6日予算委員会にて)



千葉市と同様、千葉県庁でも、男性職員の産休・育休を積極的に推奨すべきでないか?

健康福祉指導課

他自治体の事例を研究し、取得を促す取り組みを進める。(田沼注:千葉市の改革をぜひ千葉県でも実施してください!)

「子供を増やす」ことも私の選挙公約の一つです。とにかく男性は女性に育児を任せきりになってしまうことが多いと思いますが(私自身も反省)、**男性が育児に積極的であるほど、2人目以降の子供を持つという意識が高まる**という研究結果があります。

民間企業にはそれぞれの事情があり、役所の職員の中で産休・育休を推進してもすぐに社会全体が変わるかはわかりません。しかし、**世の中全体のムードを作っていく**ために、役所が率先して取り組むべきと考えます。

熊谷知事と共に、会社を増やす!

四街道市は、同規模の他市に比べて会社が少なく、法人税収が少ないのが現状です。私は当選以来、**会社を誘致しやすくなる仕組み作り**を県政で再三要望してきましたが、やはり市町村への介入には限度があり、最後は市町村任せでした。その結果、実力や熱意のない市町村の場合、誘致が進まず、不満でした。

その点、**熊谷知事は**、千葉市長時代に多くの企業誘致を実現した実績があることに加え、「**県もより主体的に取り組むべき**」という政策です。**私と同じ考え方**で、期待できます。新知事になって県当局の政策がどう変わるのか、質しました。

四街道市産業振興課との意見交換(7月26日)



田沼(7月7日商工委にて)



会社の誘致について、市町村任せにせず、県としてより主体的に取り組むべきでは?

企業立地課

県として、産業用地を整備していかなければならないことは認識している。(田沼注:どこか他人事...今までとは段違いの取り組みを!)

熊谷知事の考え方・手法は、まだ県庁に浸透していないようです。私も議員の立場で、県庁の「尻を叩いて」いきます。

「会社を増やす」ことは私の選挙公約です。市産業振興課との意見交換でも、**四街道はまだまだ会社を増やすポテンシャルがある**ことがわかりました。今後も引き続き、課題に取り組めます。

